

みんな平等

災害に備えて！



大洲市と四国コカ・コーラボ
トリング株式会社は2月17日、
災害時における救援物資提供に
関する協定を結びました。
市内で震度5弱以上の地震、
または、同等以上の災害が発生
した場合に大洲市災害対策本部
が四国コカ・コーラボトリング
に救援物資の要請を行うと、地
域貢献型自動販売機が遠隔操作
され、製品が無償で提供される
ことになっています。
現在、この自動販売機は大洲
市役所1階ロビーに設置されて

いますが、今後は市内の避難所
への設置について検討してまい
ります。



▲市役所ロビーに設置

2月19日、長浜町櫛生福祉セン
ターで「人権を考える仲間の集い」
が開催されました。
櫛生小学校児童による人権啓発
作品の発表や展示の後、藤原真澄
先生を講師に迎えて、「人権・同
和教育は家庭から」と題して講演
会があり、同和教育の現状と課題、
差別の実態、又家庭における子育
ての見直し等の講話に参加者は、
差別をなくするため、自分や家庭
が今どうすべきかを再確認をして
いました。

学生の皆さん

4月になったら国民年金学生納付 特例制度の申請を忘れずに！

学生の皆さんは一般的に収入
がない等の理由で保険料を納め
るのが難しいため、学生本人の
所得が一定額以下の場合に、在
学期間中の保険料を後払いでき
る「**学生納付特例制度**」があり
ます。
学生納付特例の承認を受ける
と、その期間中の障害等といっ
た不慮の事態には、障害基礎年
金等を受け取ることができま
す。
◇申請の手続きは、住民票を登
録してある、市区町村の国民年
金係の窓口へ。
年金手帳・印鑑及び学生証等
学生であることを証明できるも
のをご持参ください。毎年申請
が必要です。

●**対象となる学生**
大学（大学院）、短大、高校、
専門学校、各種学校等に在学す
る20歳以上の学生等^{※1}であつて、
学生本人の前年の所得が一定額
以下である方。
※1 各種学校の対象は、学
校教育法に規定される
各種学校（修業年限が
1年以上である課程）
となります。
※2 夜間・定時制課程や通
信制課程の方も含まれ
ます。

- 問い合わせ先**
- 市役所市民課市民第1係
☎ 241111（内線112）
 - 長浜支所市民福祉課
☎ 11111
 - 脇川支所市民福祉課
☎ 23111
 - 河辺支所市民福祉課
☎ 21111

受賞のお知らせ

大洲城、日本名城100選

日本城郭協会は、平成19年度に財団法人40周年を迎える記念事業として、日本各地に残る城郭の中から名城1000を選び、そのひとつに大洲城が選定を受けました。

選定対象となった城郭は、立地・縄張・普請・作事などの要素が保存や復元されていること、歴史的な事件の舞台として面影を残していること、弥生時代から近世までの城郭発達史と地域的特色を代表することなどの要素から総合的に判断され、認定となりました。

これらの名城は、地域の歴史的なシンボルであり、日本を代表する文化財であることから今後とも、一層の親しみと活用が望まれています。



ふるさとCM大賞受賞

のんびり来んな 大洲の町へ

ふるさとCM大賞EHI M E（愛媛朝日テレビ主催）の審査会が2月5日、松山市上野町の愛媛県生涯学習センターで開催されました。地元の風景や名物などを織り交ぜながら、地域

の魅力を紹介しようとするもので、愛媛県内の20の市や町から30秒のCMシヤル35作品が展示されました。

大洲市からは「ドラマ・コミ ッション・なんよ」が制作した



▲2月5日、大賞を獲得



▲2月21日、出演者らが大森市長へ受賞報告

「のんびり来んな大洲の町へ」の1作品を応募していましたが、出演者やスタッフの努力が実を結び見事、大賞に輝きました。

コラムニストの天野祐吉さん（審査委員長）からは「どの作品もふるさとを思う気持ちが伝わってくる。大賞を獲得した作品をはじめ、愛媛県内の作品のレベルは高い」と講評が述べられました。

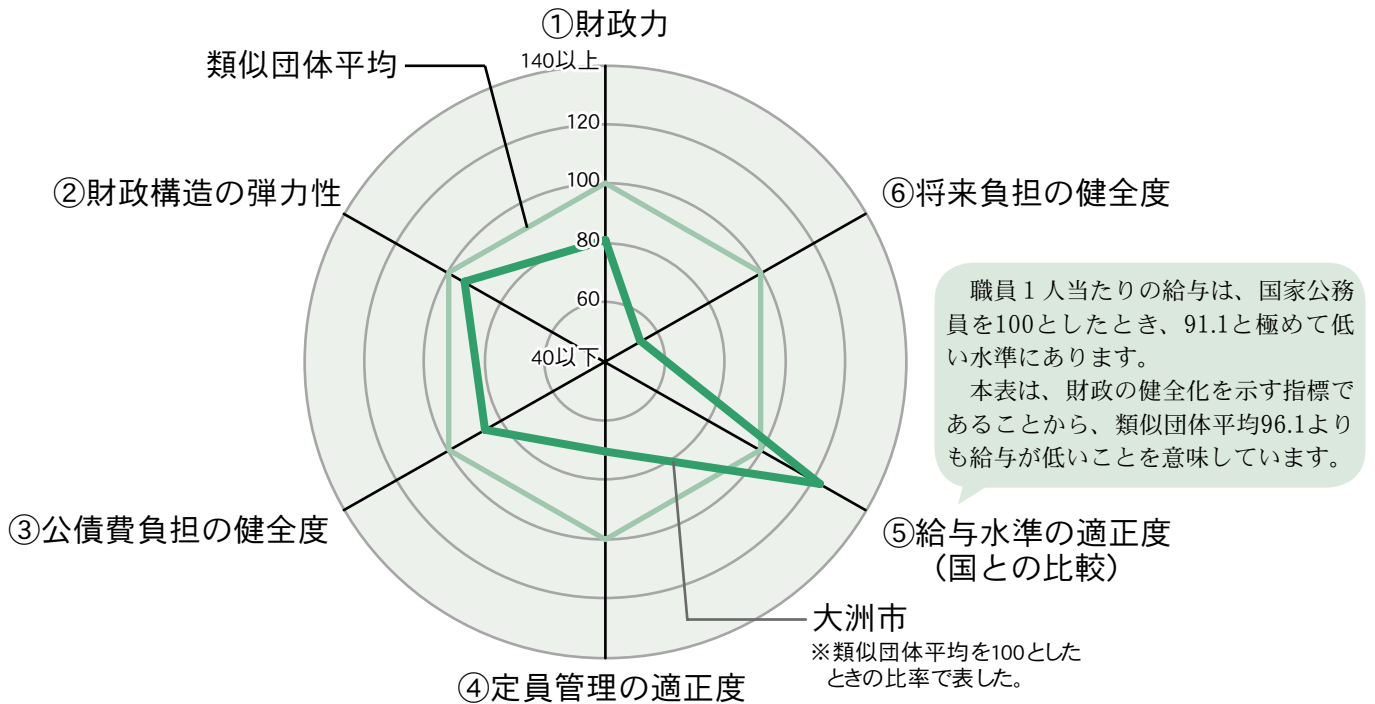
受賞した大洲市の作品は、愛媛朝日テレビで年間200回、長崎県と大分県でも25回ずつ放送されることとなっています。

大洲市と類似団体との財政比較分析

(平成16年度決算)

市では、市民の皆さんのご理解とご協力を得ながら一層の財政の健全化を推進していくために、財政状況について積極的に情報を開示するよう努めています。

今号では、平成16年度の大洲市の決算状況について大洲市に人口や産業構造等が類似した全国の市町村（類似団体）との財政比較分析を行いましたので、その内容について紹介します。



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

① 財政力 = 財政力指数

市内に中心となる産業がないことなどにより財政基盤が弱く、類似団体平均を大きく下回っています。

② 財政構造の弾力性 = 経常収支比率

義務的経費である扶助費と公債費の増加のため、経常収支比率は類似団体平均よりも高くなっています。今後は、扶助費、公債費の抑制はもちろん、人件費の削減、補助・負担金や委託料の削減等経常的な支出の見直しを行い、財政の健全化を図ります。

③ 公債費負担の健全度 = 起債制限比率

近年の景気低迷による影響で市税・地方交付税等の歳入が年々減少している一方、過去の市債発行による影響で公債費が年々増加しており、起債制限比率は類似団体平均9.9%を3.5%ポイント上回り、13.4%となっています。平成17年度には14%を超える見込みであることから、平成17年7月に公債費負担適正化計画を策定しました。今後も、市債の新規発行の抑制に努め、平成23年度には13%以下に抑えます。

④ 定員管理の適正度 = 人口1,000人当たり職員数

平成17年1月に4市町村が合併し新大洲市となったため、人口1,000人当たりの職員数は類似団体平均を上回っ

ており、職員数の削減は緊急の課題です。今後は、定員適正化計画に基づく定年退職者の不補充などにより、今後5年間で職員数を5.1%以上（45人以上）削減します。

⑤ 給与水準の適正度 = ラスパイレス指数

職員1人当たりの給与は類似団体と比較して極めて低い水準にあります。これまで適正な人事給与制度を運用した結果であると考えますが、厳しい財政状況のため平成18年度からは管理職手当、特殊勤務手当の見直しを行い、より一層の人件費削減を図ります。

⑥ 将来負担の健全度 = 人口1人当たり地方債現在高

過去の市債発行による影響で人口1人当たりの市債残高は、類似団体平均を大きく上回っています。今後は、公債費負担適正化計画に基づき市債の新規発行額を年30億円程度に抑制し、市債残高を減少させます。

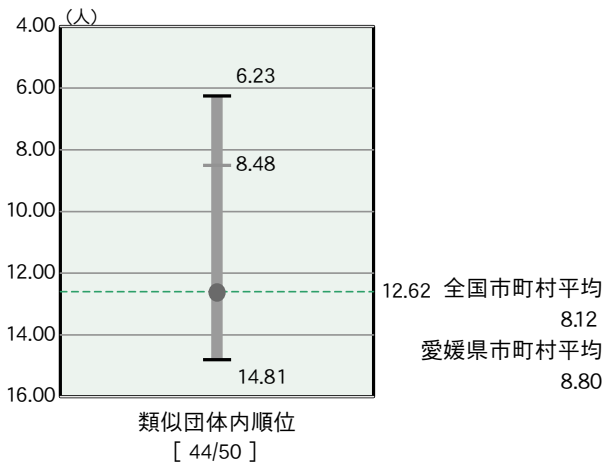
まとめ

このように、大洲市の財政状況は、大洲市と同程度の市町村と比較して非常に厳しく、一層の行財政改革の推進が求められています。今後も合併による合理化や効率化を最大限発揮させ、健全な財政構造を確立できるよう努めてまいりますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

財政状況

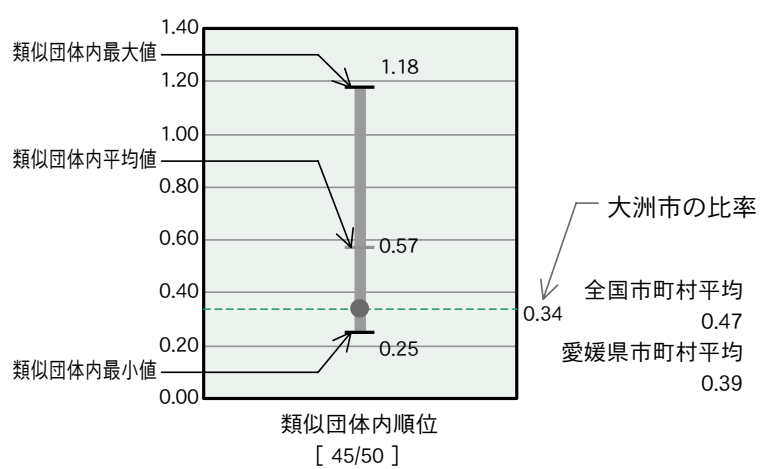
④ 定員管理の適正度

人口1,000人当たり職員数 [12.62人]



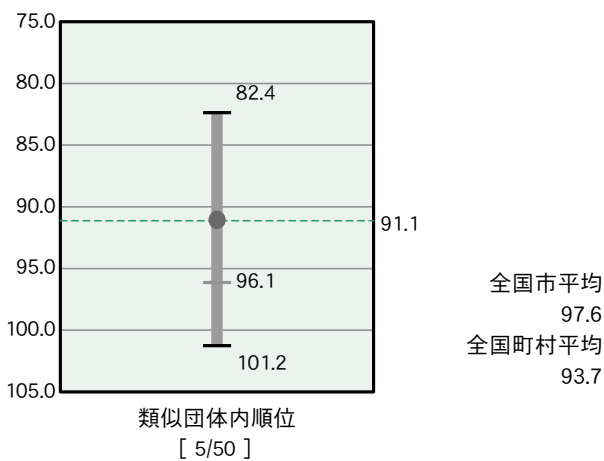
① 財政力

財政力指数 [0.34]



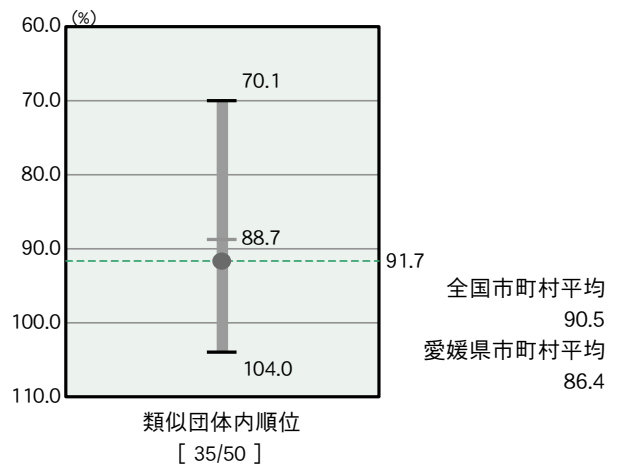
⑤ 給与水準の適正度 (国との比較)

ラスパイレス指数 [91.1]



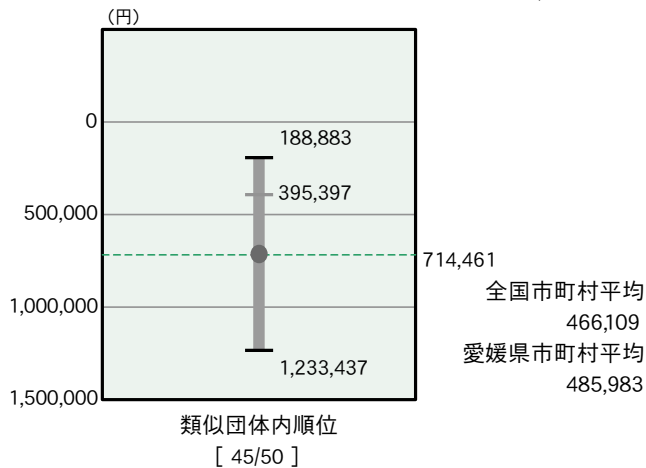
② 財政構造の弾力性

経常収支比率 [91.7%]



⑥ 将来負担の健全度

人口1人当たり地方債現在高 [714,461円]



③ 公債費負担の健全度

起債制限比率 [13.4%]

